

安全運転アドバイス

夜間の運転編

夕暮時や夜間は、周囲の状況が見えづらいため、人身事故を引き起こす可能性が高まります。夕暮時や夜間の危険を認識し、安全運転につなげましょう。

夜間の死亡事故率は昼間の約3倍

※警察庁 平成26年中の交通事故の発生状況より

平成26年中の死亡事故率



※死亡事故率=死亡事故件数÷交通事故発生件数

注意すべきポイントと対策

1 見えにくい ●スピードを抑えた運転を心がけましょう



ポイント

- 街灯やヘッドライトの照らす範囲には限りがあるため、昼間に比べ危険の発見が遅れがちです。
- また、黒っぽい服装の歩行者や無灯火走行の自転車などは、特に認識が困難です。

対策

- ◇スピードを抑えて走行するとともに、前走車や対向車がない時はヘッドライトを上向きにし、歩行者等を早めに発見しましょう。
- ◇右左折する時は、十分に減速し、ヘッドライトが当たっていない場所にも十分に目を向けて、しっかりと安全確認を行いましょう。

2 注意力の低下 ●意識的な安全確認を心がけましょう



ポイント

- 夜間は注意力が低下し、安全確認を怠りがちです。
- また、交通量の減少や、早く帰りたいという気持ちから、スピードを出しがちです。

対策

- ◇通りなれた道でも、「交差点ではしっかり止まり左右を見る」など意識的に安全確認を行いましょう。
- ◇昼間よりもスピードを抑えて走行するとともに、疲労・眠気を感じたら、休憩・仮眠をとり漫然運転・居眠り運転を防止しましょう。

3 相手が気づいていない ●防衛運転を心がけましょう



ポイント

- 夕暮れ時にライトを点灯しないのは、危険の発見が遅れるだけでなく、相手からも認識されにくく危険です。
- お酒に酔った歩行者などは、不意に道路に飛び出してくるおそれもあります。

対策

- ◇相手から気づいてもらいやすいよう、夕暮れ時は早めにライトを点灯しましょう。
 - ◇車に気づいていない歩行者等の存在を意識し、ヘッドライトの照射範囲内で停止できる速度*で走行しましょう。
- *下向きヘッドライトで時速50キロ以下。

あたり前のことを確実に行うことが事故防止につながります。ぜひ安全運転をお願いします。